NEWS RELEASE

株式会社ウィズ・パートナーズ

2026年11月18日

「地域エネルギー成長1号投資事業有限責任組合」の組成について

～　山形県置賜地域を起点とした

持続可能な地域エネルギー事業の創出を目指して　～

株式会社ウィズ・パートナーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長CEO：藤澤朋行、以下「当社」）は、2026年11月1日付で、山形県のグリーンエネルギー事業を投資対象とする「地域エネルギー成長1号投資事業有限責任組合」（以下「本組合」）を、出資約束金総額61億円で組成いたしました。当社は、本組合の無限責任組合員（GP）として、その運営を担います。

本組合は、森の学校ホールディングス株式会社（以下「森の学校HD」）への投資を通じて、山形県置賜地域を中心とする再生可能エネルギー事業の成長を支援するとともに、地域資源を活用した新たな産業の創出と、持続可能な地域社会の実現を目指すものです。

1．本組合の組成背景と目的

近年、地方では人口減少や高齢化、産業の担い手不足などが課題となる一方、豊かな自然資源や地域に根差した技術・産業基盤を活用した新たな事業創出への期待が高まっています。

山形県置賜（おきたま）地域には、豊かな水資源や森林、農業・畜産業など、多様な地域資源が存在しています。

本組合は、これらの地域資源と科学技術、人材、資本を結びつけることで、再生可能エネルギー事業の成長を支援し、地域経済の活性化と新たな産業・雇用の創出につなげることを目指しています。

2．森の学校HDを通じた事業展開

森の学校HDは、東北おひさま発電株式会社（以下「東北おひさま発電」）を中核事業会社として、地域に根差した再生可能エネルギー事業の発展と、新たな事業モデルの構築を推進していく予定です。

東北おひさま発電は、2011年の東日本大震災を契機とした地域エネルギーへの思いから生まれ、2013年の設立以来、地域の皆さまとの信頼関係を築きながら、太陽光・小水力・バイオガス発電事業を展開してきました。

現在、太陽光発電所4拠点、バイオガス発電所1拠点、小水力発電所1拠点の計6拠点を運営しています。

森の学校HDは、こうした既存事業の基盤と現場で培われた技術・運営ノウハウを継承し、経営基盤の強化と事業のさらなる成長を目指します。

3．今後の取り組み

今後は、既存の発電事業の安定的な運営と収益力の向上に取り組むとともに、地域の農業・畜産業と連携した資源循環型のエネルギー事業を推進してまいります。

特に、家畜ふん尿や食品残さなどを活用したバイオガス発電を通じて電気や熱を生み出し、発酵後に残る資源を肥料として農業に還元するなど、地域内で資源とエネルギーが循環する仕組みの構築を目指します。

また、AIをはじめとする先端技術や国内外の事業パートナーの知見を活用し、発電設備の運営効率化、技術・ノウハウの高度化、新たな事業機会の創出に取り組んでまいります。

さらに、置賜地域で培った事業モデルを標準化し、将来的には国内外の地域への展開を目指します。

4．今後の展望

当社は、これまで創薬・ヘルスケア分野を中心に培ってきた投資・経営支援、科学技術の事業化に関する知見を活かし、森の学校HDおよび東北おひさま発電の持続的な成長を支援してまいります。

本組合の取り組みを通じて、地域の資源や技術を新たな事業価値へと転換し、地域に新たな産業と雇用を生み出すとともに、次世代を担う人々が地域の未来に希望を持てる社会の実現に貢献してまいります。

【本組合の概要】

名　　称	地域エネルギー成長1号投資事業有限責任組合
組合設立日	2026年11月1日
出資約束金総額	61億円
無限責任組合員（GP）	株式会社ウィズ・パートナーズ
主な投資対象	森の学校ホールディングス株式会社

【関連情報】

森の学校ホールディングス株式会社

https://www.morinogakkou-hd.com/

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ウィズ・パートナーズ

https://www.whizp.com/

以上